

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 システムソフト

コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 緒方 友一

TEL 092-714-6236

四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	294	21.1	1	—	△3	—	△5	—
23年9月期第1四半期	243	35.6	△18	—	△21	—	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△0.15	—
23年9月期第1四半期	△0.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	1,696	1,285	75.8	38.64
23年9月期	1,657	1,291	77.9	38.79

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,285百万円 23年9月期 1,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	626	20.4	61	—	49	—	47	216.7	1.41
通期	1,317	31.3	159	—	140	—	135	—	4.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	33,311,260 株	23年9月期	33,311,260 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	31,370 株	23年9月期	31,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	33,279,890 株	23年9月期1Q	33,279,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（平成23年10月1日～平成23年12月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興の動きが感じられたものの、欧州債務危機や急速な円高などの影響により不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましても、震災の影響による新規案件の先送りや受注競争の激化など、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社は、システム開発事業において既存のお客様からの新たな案件獲得により事業の拡大を目指すとともに、新たな事業として、平成24年1月4日の運営開始に向けて賃貸不動産情報サイト「APAMAN」の準備をすすめてまいりました。

システム開発事業の全体における売上高は、前年同四半期に比して51百万円（21.1%）増加し、294百万円となりました。なお、当第1四半期累計期間においてはシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、分野別の業績につきましては次のとおりであります。

（通信関連分野）

通信関連のシステム開発につきましては、継続案件に加えて、スポットの開発案件の受注が順調に伸びたため、売上高は前年同四半期に比して25百万円（32.6%）増加し、104百万円となりました。

（生活インフラ関連分野）

生活インフラ関連のシステム開発につきましては、新規案件のスタートの遅れはあったものの、売上高は前年同四半期とほぼ同額の25百万円となりました。

（不動産関連分野）

不動産関連のシステム開発につきましては、親会社 株式会社アパマンショップホールディングスのグループ内で取り組んでおりました不動産情報サイト「apamanshop.com」の再構築案件が終了したことにより、売上高は前年同四半期に比して12百万円（15.5%）減少し、68百万円となりました。

（その他の分野）

その他の分野におきましては、生損保・金融関連における新規案件の獲得等により、売上高は前年同四半期に比して38百万円（65.5%）増加し、96百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の増加に加え、プロジェクト管理体制を強化し原価の圧縮に努めたこと等により、売上総利益は前年同四半期に比して25百万円（94.5%）増加し、53百万円となりました。

一方、人材の拡充のための採用費等により、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比して4百万円（10.8%）増加し51百万円となったため、営業利益は1百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）、経常損失は3百万円（前年同四半期は経常損失21百万円）、四半期純損失は5百万円（前年同四半期は四半期純損失23百万円）をそれぞれ計上いたしました。

なお、当社におきましては、開発案件の売上計上がお客様の決算期にあたる第2四半期末（3月）及び第4四半期末（9月）に集中する傾向があることから、第1四半期累計期間については経常利益、四半期純利益とも計画段階から赤字を見込んでおります。

賃貸不動産情報サイト「APAMAN」につきましては、豊富な物件の中から、利用者の求める条件を充たす物件情報を、迅速かつ適切に提供できる利便性の高い新サイトとして評価いただけるよう、システムの構築ならびに約100万件の物件情報を準備し、予定どおり平成24年1月4日に公開しております。

（ご参考）賃貸不動産情報サイト「APAMAN」URL：<http://www.apaman-navi.com/>

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ38百万円増加し、1,696百万円となりました。これは主に、現金及び預金が93百万円減少した一方、売掛金が156百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ44百万円増加し、410百万円となりました。これは主に、買掛金の増加27百万円や未払金の増加14百万円等によるものであります。

純資産合計は前事業年度末に比べ5百万円減少し、1,285百万円となりました。これは主に、四半期純損失5百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しているため、平成23年11月4日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	252,396	159,308
売掛金	260,082	416,099
仕掛品	514	9,744
その他	48,799	15,383
流動資産合計	561,792	600,535
固定資産		
有形固定資産	6,177	6,546
無形固定資産	6,226	6,181
投資その他の資産		
長期前払費用	1,060,010	1,060,010
その他	23,314	23,153
投資その他の資産合計	1,083,325	1,083,164
固定資産合計	1,095,729	1,095,891
資産合計	1,657,521	1,696,426
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,917	63,477
未払金	134,204	148,429
未払法人税等	6,829	2,819
賞与引当金	20,383	15,880
その他	21,490	32,788
流動負債合計	218,825	263,395
固定負債		
繰延税金負債	664	525
退職給付引当金	144,915	144,514
資産除去債務	2,070	2,077
固定負債合計	147,650	147,117
負債合計	366,475	410,513

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	185,381	185,381
利益剰余金	△386,455	△391,494
自己株式	△8,014	△8,014
株主資本合計	1,290,912	1,285,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133	40
評価・換算差額等合計	133	40
純資産合計	1,291,045	1,285,913
負債純資産合計	1,657,521	1,696,426

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	243,199	294,590
売上原価	215,881	241,450
売上総利益	27,318	53,140
販売費及び一般管理費	46,214	51,191
営業利益又は営業損失(△)	△18,895	1,949
営業外収益		
還付加算金	—	459
受取賃貸料	4,328	—
その他	2,929	178
営業外収益合計	7,257	638
営業外費用		
地代家賃	—	2,130
賃貸収入原価	4,305	—
その他	5,462	4,285
営業外費用合計	9,767	6,415
経常損失(△)	△21,405	△3,827
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	336	—
特別損失合計	336	—
税引前四半期純損失(△)	△21,741	△3,827
法人税、住民税及び事業税	1,283	1,283
法人税等調整額	—	△71
法人税等合計	1,283	1,211
四半期純損失(△)	△23,024	△5,039

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、システム開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。